

小松の魅力、文化や食べ物 こまつもん自慢

小松市の文化や食べ物を紹介するサイト

[トップページ](#)[小松市の歴史](#)[歌舞伎のまち](#)[周辺の伝統工芸](#)[粟津温泉](#)[小松空港](#)[世界企業コマツ](#)[B級グルメ](#)

「恋人の聖地」にも指定される粟津温泉

加賀温泉郷のひとつ、粟津温泉

粟津温泉は小松の市内中心街から見るとちょうど木場潟の向こう側にあります。隣の加賀市と隣接する地域にあって、山中、山代、片山津とあわせて加賀温泉郷の1つに数えられます。加賀温泉郷のそれぞれの温泉はいずれも歴史の古いもので、地元の伝統文化や歴史とあわせて地域住民に愛されています。

他の3つの温泉街の旅館やホテルは、高度経済成長期に大規模化をはかり団体客を中心としたビジネスモデルに転換しました。しかし、粟津温泉の各旅館はどちらかという地元顧客を対象とした営業をつづけ、そのためバブル崩壊後においても大きく町並みが変わるようなことはありませんでした。

粟津温泉には、旅館の奉公人どうしによる「おっしょべ物語」という恋物語が伝わっていて、これによってNPO法人地域活性化支援センターによる「恋人の聖地」に指定されています。全体としてコンパクトなまちづくりが心がけられていて、おっしょべの象徴である「幸せの鐘」などを中心として、歩いて散策できるルートが整備されています。

霊峰白山を仰ぐ由緒ある温泉

北陸地方では白山を霊峰として仰ぐ自然信仰が広く支持されてきました。その中で、山中で修行を重ねていた泰澄大師が西暦700年頃に発見したのがこの粟津温泉だと言われています。大師は白山権現のお告げにしたがって、この地に湯治の泉を見出したのです。それ以来、たくさんの人達が利用してきました。

粟津温泉がある場所は加賀平野の少し山側に寄った地域で、小松市域にある山々の向こうに霊峰白山を臨みます。近くには紅葉の時期に特に人気の那谷寺という名刹があり、神仏に守られて地域住民に愛される温泉だと言えるのかもしれませんが。加賀藩の名君たる前田利常公も那谷寺への参拝のおりにはここに立ち寄っていたそうです。

粟津温泉への交通アクセス

北陸自動車道のインターチェンジや小松空港からは30分弱、石川県の大動脈である国道8号線からは5分ほどで到着します。最寄り駅となるのはJRの粟津駅ですが、遠方からの利用であれば特急が停車する小松駅を利用することになります。いずれの駅からも粟津温泉行きのバスが発着していて、金沢駅からも山中温泉行きのバスに乗って1時間ちょっとで来られます。